

令和4年度

「第4次松山市下水道整備基本構想」

の進捗状況について（指標実績値の公表）



市民がデザインしたマンホール蓋

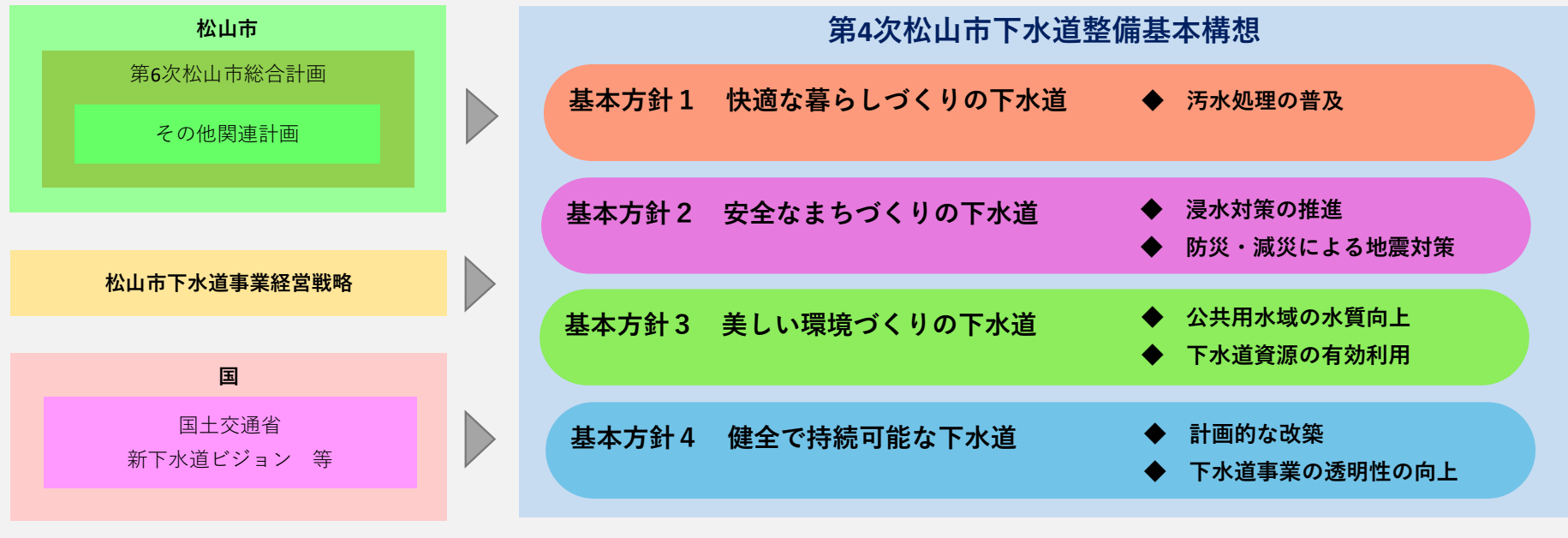


松山市公営企業局



「第4次松山市下水道整備基本構想」とは

- ・ 計画期間：平成29年度～令和8年度
- ・ 本構想は、「安全で快適な暮らしを守り、美しい環境を未来へつなぐ下水道」を基本理念として掲げ、この基本理念を実現するため、これまで進めてきた「第3次松山市下水道整備基本構想」の基本方針を継承しつつ、国土交通省が示した「新下水道ビジョン」や松山市の上位計画である第6次松山市総合計画及びその他関連計画を反映したうえで策定しました。



指標とは

- ・ 「第4次松山市下水道整備基本構想」の4つの基本方針や取り組みについて、進捗状況を把握するための指標です。後期計画（令和4～8年度）では、13の指標ごとに最終目標を設定し、計画的な目標達成を目指しています。
- (1) 快適な暮らしづくりの下水道・・・2項目
 - (2) 安全なまちづくりの下水道・・・6項目
 - (3) 美しい環境づくりの下水道・・・2項目
 - (4) 健全で持続可能な下水道・・・3項目

指標実績値の公表について

- ・ 指標実績値を毎年度公表することで、計画に掲げる事業の進捗状況を継続してお知らせします。

「第4次松山市下水道整備基本構想」指標に基づく進捗状況一覧

基本方針1 快適な暮らしづくりの下水道

施策	指標	単位	H27 (2015) 実績値	計画期間												望ましい 方向	備考	
				H29 (2017)	H30 (2018)	R元 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R3 中間目標 (2022)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R8 最終目標			
汚水処理の普及	汚水処理人口普及率	%	84.6	86.4	87.2	87.9	89.0	89.7	90.0	90.4						95.0	↑	
	下水道処理人口普及率	%	61.3	62.3	63.0	63.8	64.7	65.2	65.0	65.8						69.0	↑	

基本方針2 安全なまちづくりの下水道

施策	指標	単位	H27 (2015) 実績値	計画期間												望ましい 方向	備考	
				H29 (2017)	H30 (2018)	R元 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R3 中間目標 (2022)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R8 最終目標			
浸水対策の推進	下水道雨水整備率	%	69.1	70.2	71.0	72.3	72.8	73.1	75.0	73.9						79.0	↑	
	処理場・ポンプ場の耐水化率（短期計画）	%	-	-	-	-	-	-	-	0						100	↑	R3中間見直しで指標追加
防災・減災による地震対策	管渠の耐震化率	%	61.6	62.4	63.1	65.1	85.4	86.1	71.0	87.6						90.0	↑	R3中間見直しで最終目標を80.0から上方修正
	処理場の機能確保率 （揚水・沈殿機能の確保）	%	-	-	-	-	-	-	-	57.1						100	↑	R3中間見直しで指標追加
	マンホールトイレ設置校数	校	3	4	4	9	16	19	-	25						50	↑	R3中間見直しで計画策定数から設置校数に指標変更
	下水道BCPIに基づいた訓練	回/年	1	1	1	1	1	1	1	1						1	↑	

基本方針3 美しい環境づくりの下水道

施策	指標	単位	H27 (2015) 実績値	計画期間												望ましい 方向	備考	
				H29 (2017)	H30 (2018)	R元 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R3 中間目標 (2022)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R8 最終目標			
下水道資源の有効利用	下水汚泥の有効利用率	%	24.6	31.5	31.6	26.6	29.3	25	27.0	24.4						90.0	↑	R3中間見直しで最終目標を28.0から上方修正
	下水汚泥エネルギー化率	%	43.3	47.9	51.4	49.0	50.6	48.4	45.0	56.1						89.0	↑	R3中間見直しで最終目標を46.0から上方修正

基本方針4 健全で持続可能な下水道

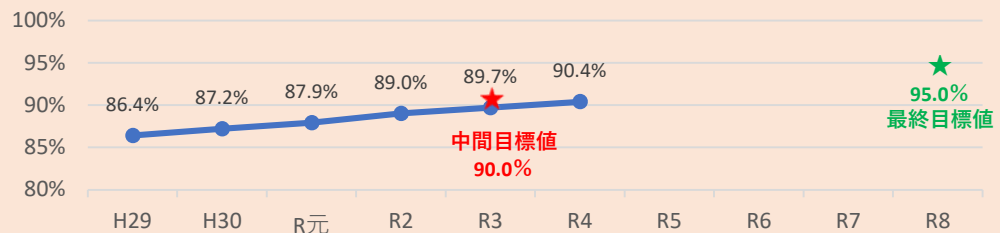
施策	指標	単位	H27 (2015) 実績値	計画期間												望ましい 方向	備考	
				H29 (2017)	H30 (2018)	R元 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R3 中間目標 (2022)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R8 最終目標			
計画的な改築	管渠のストックマネジメント計画に基づく点検調査延長	km	-	-	-	-	-	-	-	10						100	↑	R3中間見直しで指標追加
	処理場・ポンプ場のストックマネジメント計画に基づく調査診断施設数	箇所	-	-	-	-	-	-	-	21						24	↑	R3中間見直しで指標追加
下水道事業の透明性の向上	施設見学・出前講座等の実施回数	回/年	9	15	10	11	5	35	12	36						12	↑	

「第4次松山市下水道整備基本構想」指標

基本方針1 快適な暮らしづくりの下水道

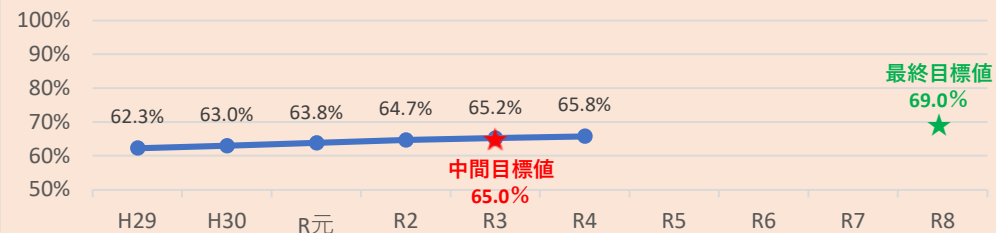


汚水処理人口普及率



指標の説明	松山市の総人口のうち、汚水処理施設を利用できる人口の割合を表す			
指標の目標値	R3中間目標値	90.0%	R8最終目標値	95.0%
算定式	((下水道処理人口+農業集落排水処理人口+合併処理浄化槽処理人口)÷行政人口)×100 (%)			
指標の望ましい方向	↑ 高い方がよい			

下水道処理人口普及率

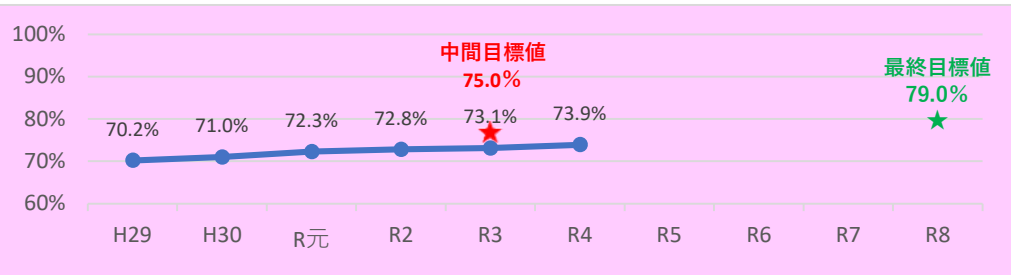


指標の説明	松山市の総人口のうち、公共下水道を利用できる人口の割合を表す			
指標の目標値	R3中間目標値	65.0%	R8最終目標値	69.0%
算定式	(下水道処理人口÷行政人口)×100 (%)			
指標の望ましい方向	↑ 高い方がよい			

基本方針 2 安全なまちづくりの下水道



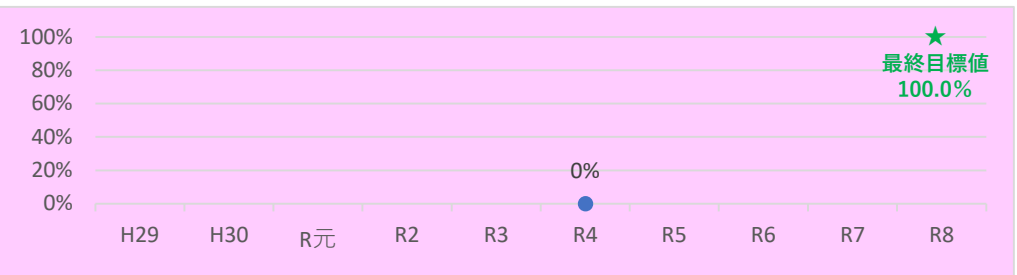
下水道雨水整備率



指標の説明	都市浸水対策を実施すべき区域の面積のうち、整備が完了した面積（おおむね10年に一度の大雨に対応）の割合を表す			
指標の目標値	R3中間目標値	75.0%	R8最終目標値	79.0%
算定式	$(\text{整備済面積 (累計)} / \text{都市浸水対策を実施すべき区域の面積}) \times 100 (\%)$			
指標の望ましい方向	↑ 高い方がよい			

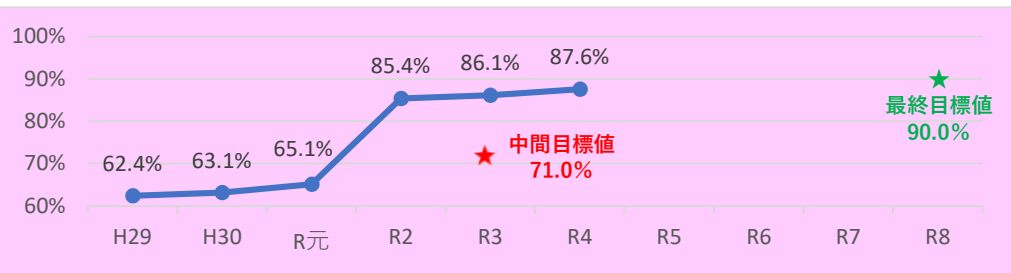
処理場・ポンプ場の耐水化率(短期計画)

R3中間見直しで指標追加



指標の説明	短期計画の対象の処理場・ポンプ場のうち、耐水化済み施設の割合を表す			
指標の目標値	R3中間目標値	—	R8最終目標値	100.0%
算定式	$(\text{耐水化済み施設数} / \text{総施設数}) \times 100 (\%)$			
指標の望ましい方向	↑ 高い方がよい			

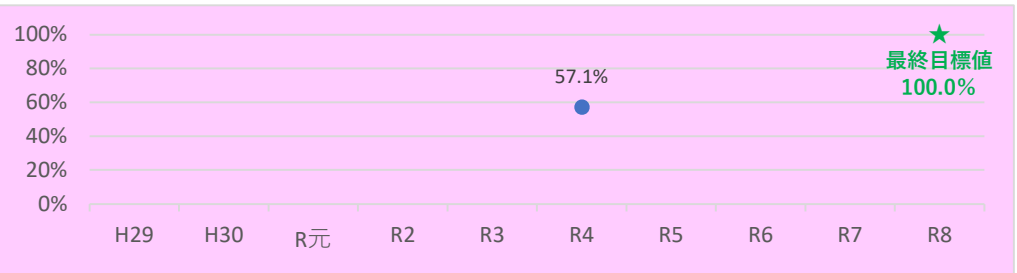
管渠の耐震化率



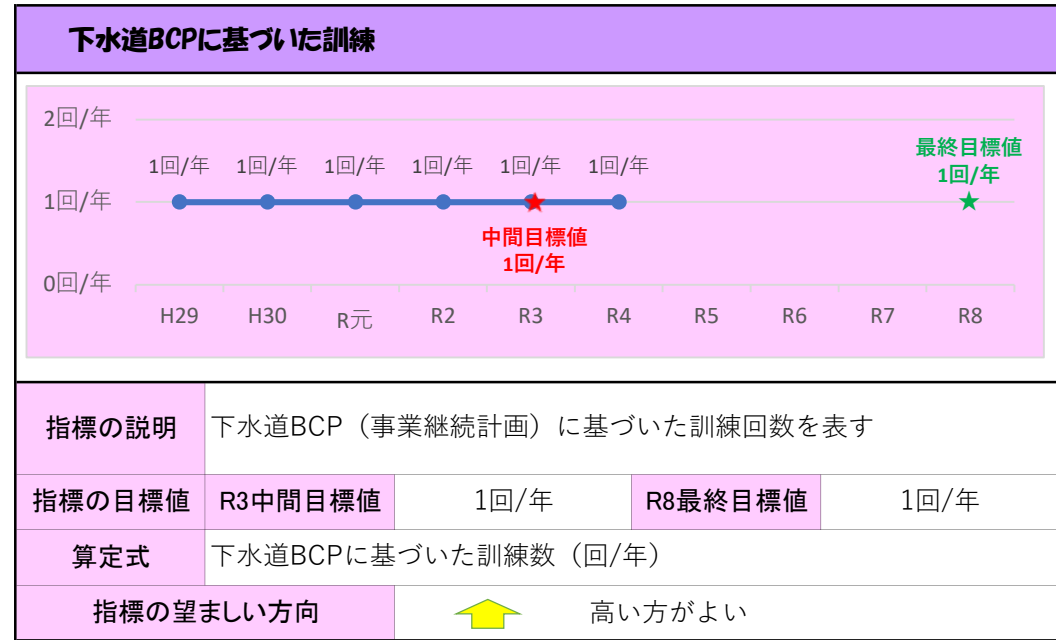
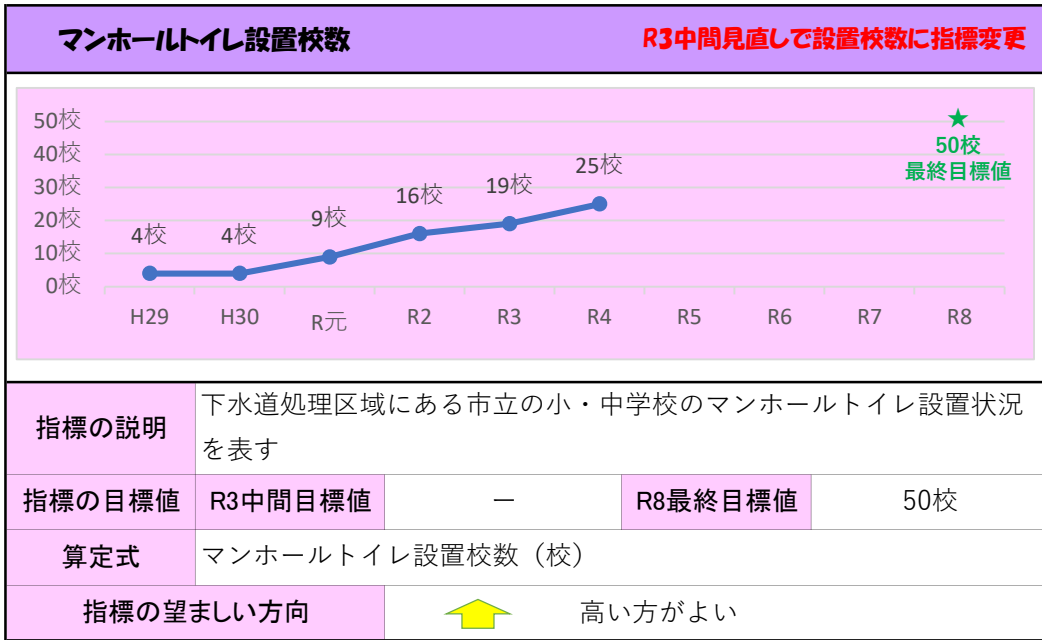
指標の説明	重要な幹線のうち、耐震化済みの管渠延長の割合を表す			
指標の目標値	R3中間目標値	71.0%	R8最終目標値	90.0%
算定式	$(\text{耐震化済み延長 (累計)} / \text{重要な幹線延長}) \times 100 (\%)$			
指標の望ましい方向	↑ 高い方がよい			

処理場の機能確保率(揚水・沈殿機能の確保)

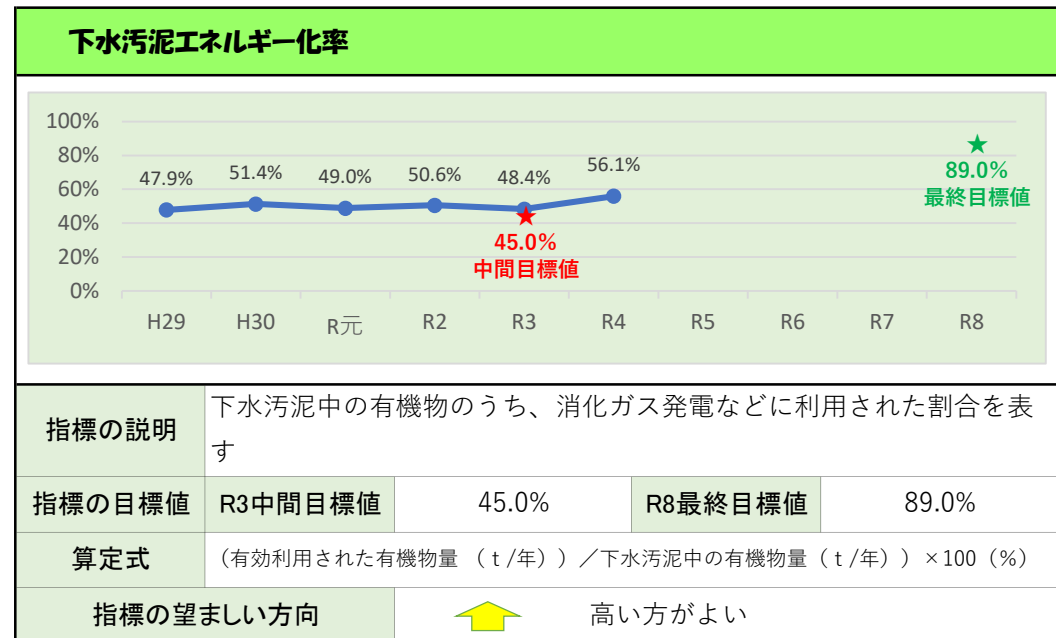
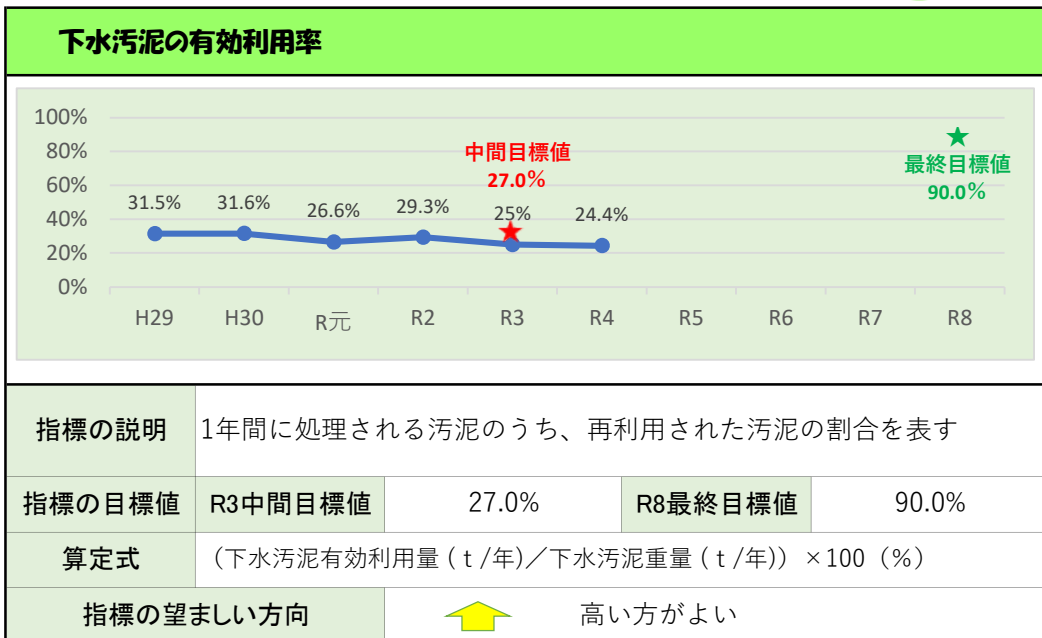
R3中間見直しで指標追加



指標の説明	揚水・沈殿施設のうち、耐震化済み施設の割合を表す			
指標の目標値	R3中間目標値	—	R8最終目標値	100%
算定式	$(\text{耐震化済み施設数} / \text{総施設数}) \times 100 (\%)$			
指標の望ましい方向	↑ 高い方がよい			



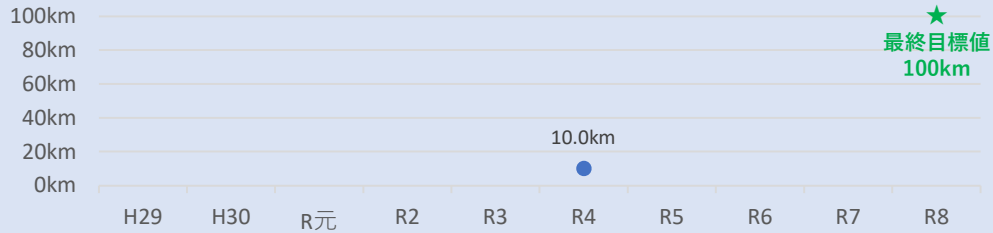
基本方針3 美しい環境づくりの下水道



基本方針4 健全で持続可能な下水道

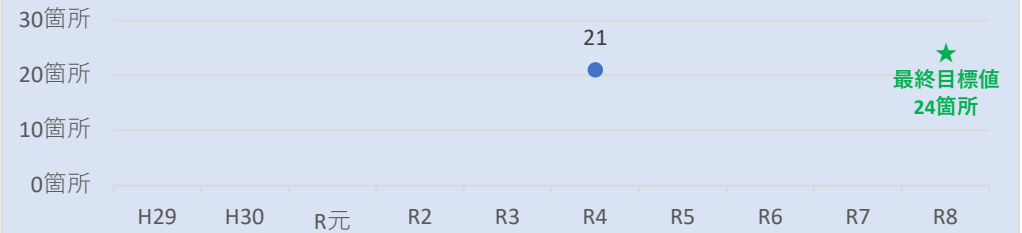


管渠のストックマネジメント計画に基づく点検調査延長 R3中間見直しで指標追加



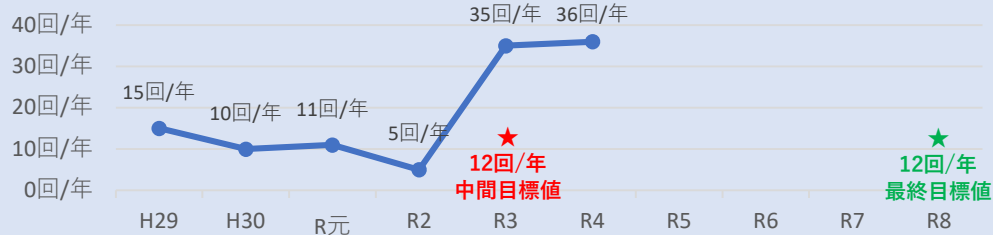
指標の説明	ストックマネジメント計画に基づき管渠の劣化状況を把握するための点検調査延長を表す			
指標の目標値	R3中間目標値	—	R8最終目標値	100km
算定式	管渠のストックマネジメント計画に基づく点検調査延長（累計）			
指標の望ましい方向	↑ 高い方がよい			

処理場・ポンプ場のストックマネジメント計画に基づく調査診断施設数 R3中間見直しで指標追加



指標の説明	ストックマネジメント計画に基づき、処理場・ポンプ場の劣化状況を把握するための調査診断施設数を表す			
指標の目標値	R3中間目標値	—	R8最終目標値	24箇所
算定式	処理場・ポンプ場のストックマネジメント計画に基づく調査診断施設数（箇所）			
指標の望ましい方向	↑ 高い方がよい			

施設見学・出前講座等の実施回数



指標の説明	下水道事業に対する理解を深めてもらうための施設見学や出前講座等の実施状況を表す			
指標の目標値	R3中間目標値	12回/年	R8最終目標値	12回/年
算定式	施設見学・出前講座等の実施回数（回/年）			
指標の望ましい方向	↑ 高い方がよい			